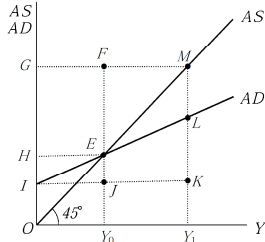


【的中問題！】一部ご紹介致します！

大原：公開模擬試験－第5問

下図は、45度線図である。
総需要ADが消費C、投資Iから構成される経済モデルを仮定する。すなわち、 $AD = C + I$ である。
ここで、消費関数と投資関数はそれぞれ、 $C = C_0 + cY$ 、 $I = I_0$ として与えられ、YはGDP、 C_0 は独立消費、 c は限界消費性向($0 < c < 1$)、 I_0 は独立投資である。他方、総供給ASは、 $AS = Y$ として示される。
この図に基づいて、下記の設問に答えよ。



(設問1)

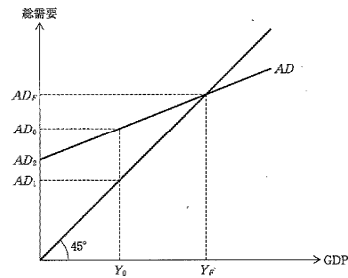
この図に関する記述として、最も適切なものはどれか。解答は問5へマークせよ。

- ア 図中で独立消費と独立投資を合わせた大きさはOHで表される。
イ 図中で限界消費性向の大きさは $\frac{MK}{IK}$ で表される。
ウ 図中で限界貯蓄性向の大きさは $\frac{GH}{JK}$ から $\frac{HI}{IJ}$ を控除して表される。
エ 完全雇用GDPが Y_1 であるとき、生産物市場にはJKのデフレギャップが生じている。

本試験：第6問

下図は、45度線図である。この図において、総需要は $AD = C + I + G$ (ただし、ADは総需要、Cは消費支出、Iは投資支出、Gは政府支出)、消費関数は $C = C_0 + cY$ (ただし、 C_0 は基礎消費、 c は限界消費性向($0 < c < 1$)、YはGDP)によって表されるとする。図中における Y_F は完全雇用GDP、 Y_0 は現実のGDPである。

この図に基づいて、下記の設問に答えよ。



(設問1)

この図に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

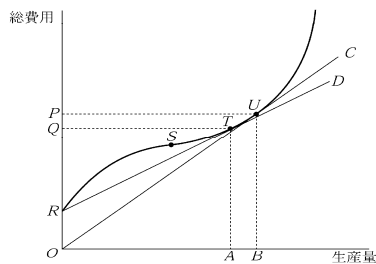
- a 総需要線ADの傾きは、 c に等しい。
b 投資支出1単位の増加によるGDPの増加は、政府支出1単位の増加によるGDPの増加より大きい。
c 総需要線ADの縦軸の切片の大きさは、 C_0 である。

【解答群】

- ア a：正 b：正 c：誤
イ a：正 b：誤 c：正
ウ a：正 b：誤 c：誤
エ a：誤 b：正 c：誤
オ a：誤 b：誤 c：正

大原：公開模擬試験－第15問

下図はある企業の総費用曲線を表したものである。なお、T点は総費用曲線と直線RDとの接点、U点は総費用曲線と直線OCとの接点である。この図に関する記述として、最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。解答は問16へマークせよ。



- a 生産量Aにおける限界費用は、線分OQの長さを線分OAの長さで除した値と等しい。
b 生産量Aにおける平均可変費用は、線分RQの長さを線分OAの長さで除した値と等しい。
c 生産量Bにおける平均費用は、線分OPの長さを線分OBの長さで除した値と等しい。
d 生産量Bにおける限界費用は、線分OPの長さを線分OBの長さで除した値と等しい。

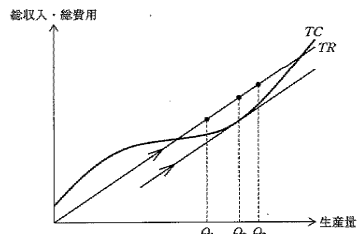
【解答群】

- ア aとb
イ aとcとd
ウ bとc
エ bとcとd

本試験：第15問

利潤最大化を達成するための最適生産について考えるためには、総収入と総費用の関係を見ることが重要である。下図には、総収入曲線TRと総費用曲線TCが描かれている。

この図に基づいて、下記の設問に答えよ。



(設問1)

費用関数に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

- a 総費用曲線TCの縦軸の切片は、固定費用に等しい。
b 平均費用が最小値を迎えるところでは、限界費用と平均費用が一致する。
c 生産量の増加に比例して、平均費用も増加していく。

【解答群】

- ア a：正 b：正 c：正
イ a：正 b：正 c：誤
ウ a：正 b：誤 c：誤
エ a：誤 b：正 c：正
オ a：誤 b：誤 c：正

㊤ 経済学・経済政策

(ご注意) 本解答・配点は、令和4年8月8日(月)に一般社団法人中小企業診断協会(<http://www.j-smeca.jp/index.html>)から発表されたものです。

問題	設問	正解	配点
第1問	—	ア	4
第2問	—	ア	4
第3問	—	オ	4
第4問	—	ア	4
第5問		エ	4
第6問	設問1	ウ	4
	設問2	エ	4
第7問	設問1	オ	4
	設問2	ウ	4
第8問	—	エ	4
第9問	—	ア	4
第10問	—	イ	4
第11問	—	イ	4
第12問	—	イ	4
第13問	—	ウ	4
第14問	—	ウ	4
第15問	設問1	イ	4
	設問2	ア	4
第16問	設問1	オ	4
	設問2	イ	4
第17問	—	エ	4
第18問	—	イ	4
第19問	—	ウ	4
第20問	—	ア	4
第21問	—	ウ	4
合計			100